

様式第2号 (第3条関係)

平成30年1月19日

篠山市議会議長 様

会派名 ー

代表者名 ー

又は会派無所属議員の氏名 向井 千尋

政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類: 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他 (資料購入費)
2. 活動期間: 平成29年12月5日
3. 場所: 丹波市市島町下鴨阪271 橋本有機農園
4. 活動者: 向井千尋
5. 活動の概要: 別紙参照
6. 考察: 別紙参照
7. 活動に要した費用: 5,616円

費目	詳細	金額	備考
研究研修費	燃料代	616	自宅～市島町下鴨阪 44km 燃費 10km/ℓ、燃料 4.4ℓ 140円×4.4ℓ=616円
〃	講師料	5,000	

政務活動調査研究報告書

報告者	向井千尋
日時	2017年12月5日(火)
調査研究名	市島町における有機農業の現状について 講師 橋本有機農園代表 橋本慎司氏
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市は篠山市のような特産物が少ない＝環境保全型農業を進めてきた。 ・少子高齢、人口減少は日本海に向かうほど厳しい＝市島町は近隣都市が福知山市、京阪神へのアクセスは難しい＝危機感強い。 ・新規就農の支援について・・・行政による空き家バンクの実施、農地面積の制限なし ・市島有機農業研究会（生産団体、JA） 約30生産者が加盟 京阪神1200人程度の消費者へ約1億超の売り上げ ・空中散布は認めない、ゴルフ場建設反対、立木を買うトラスト運動等を展開してきた。 ・農業は工業によって支えられている。 ・欧州は食糧を守るための施策をとってきた。 ・WTO＝環境にやさしい農業を守ることが、政治、経済を通じて確立させ、オーガニックブームを生み出すことにつながった。環境保全型農業は政策として行われてきた。 ・農業委員、農会長、人農地プラン役員、県環境保全農業委員、全国、・・・地域の役員から、県国レベルの役員まで行うことで、マクロミクロの情報や動きがわかる。 ・丹波市の施策について <p>地域おこし協力隊・半農半公 5人 週のうち半分を農業に、3年の隊員の後は就農。</p> <p>農の学校 平成31年新事業 新規就農者への支援策。</p> <p>補助メニュー一覧のパンフレット作成。</p> <p>有機農業推進法によるモデルタウン 国へ申請 丹波有機の里づくり協議会（丹波市、JA、研究会の3者で）</p> <p>講座年2回、生産出荷組合の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察 <p>神戸生活生協就業時に市島町有機農業組合と出会い、自らも30年前に市島町に移住し新規就農、現在でも有機農業を営まれている。農業者自身としての日々の生業と組合等ネットワークを通じた国内外での幅広い活動、行政やJAとの協働事業の構築等市島町の有機農業をけん引され</p>

	てきた経緯について理解し、敬服であった。今後の本市で生かしていきたい。
--	-------------------------------------

領 収 証

嵯峨野市議会

岡井 様

29年12月5日

★ 75,000 =

但 講師料

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

丹波市市島田下鴨阪271
橋本有持鬼園
橋本真司

